

事業所名	重度心身障がい児 放課後等デイサービスひまわり菊川西校
------	-----------------------------

公表日 令和 8 年 月 日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	2	・ソファアやマット等をうまく使用して一人一人のスペースを確保するようにしている。	・歩ける利用児や動ける利用児が多いので利用人数が多い時は狭く感じてしまう。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。		3	・少ない職員数でも安全に行える支援を考えて行っている。 ・募集はかけてもらっている。	・利用人数に対して職員数が少ない。 ・看護師不足で利用キャンセルしていただく日がある
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		3	・小さな段差が多いが都度声を掛けたり、安全に過ごせるように気をつけている。 ・ポットなどを使用して少ない人数の際に足湯を行っている。	・バリアフリーではない。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3		・毎日掃除・消毒を欠かさず行っている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	1	・パニックやクールダウンの為、事務所の奥の部屋を使用したりしている。	・プライバシーを守るためのカーテンを設置したい
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	1	2		・目標設定と振り返りは細かく出来ていないので細かく行い、周知していく必要がある。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	2		・評価表を共有し、業務の改善につながる話し合いを行う必要がある。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	1	・月に2回ほどカンファレンスを行っている。 (本当は週に1回出来たら良い)	・意見を把握する機会が少ないため、増やしていく必要がある。 ・カンファレンスも対象利用児を決めて今日はこの子についてこうしていきたいなどをより深く話し合いたい。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	2		・第三者による外部評価の機会がない。また評価はどのように行うのか。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	1		・パートさん含めての研修は中々行えていない。
適	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	1		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	1		・共通理解が難しい。 ・全員が同じ方向性（同じやり方）で支援をする必要がある。徹底していきたい。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		・共有できるようにケース記録のファイルに計画を入れている。	・個別にやっていきたいことが中々できていない。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	1		・具体的にしていける必要がある。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	1	2	・話し合いをして活動のアイデアを出し合っている時もあるが、中々できない時もある。	・専門職不足

切 な 支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	1	2	・人員不足の中よく工夫をして行っている。 ・同じゲームでも季節の応じたモチーフを使用している	・できないこともあり活動が固定されてしま うことがある。 ・職員がもう少し多ければ内容に幅が出る。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	2	1		・集団活動の日だけでなく個別活動の日を作っていく。 ・個別活動が出来ていない。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	1		・役割分担などは打ち合わせできていない。 ・パートさんが出勤してからの昼食が出来ていないことがある。 ・必ず昼食を行い、支援前に打ち合わせを行ってきたい。 ・パートで勤務時間に違いがある為参加できない。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	1	・全職員ではないが行っていた日もある。 ・常勤職員のみでの話し合いは出来ている。	・次の日などにパート職員にも共有していく。 ・パートで勤務時間に違いがある為、出来ていない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3			・記録は出来ているが改善につながるようにしていきたい。 ・話し合いやカンファレンスの機会を増やしていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3		・活動時、何種類か提示して自分で選べるようにしている（製作時など）	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	2		・人員不足や専門職不足・機会がない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		3		・あまり関わる機会がない。 ・記録のコピーはもらっている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		3		・事業所などと直接的な情報提供は出来ない。 相談員さんに話している。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		3		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		3		
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3				

保 護 者 へ の 説 明 等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	1	・保護者会を行っているが、なかなか保護者全員の出席は難しい。	・人員不足もあり、きょうだい同士の交流の機会を設けることが難しい。・きょうだいどうしの交流などは一校舎では難しいため、会社全体で取り組みたいと考えている。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3		・ひまわり通信やインスタグラムにて活動を紹介している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3			
非 常 時 等 の 対 応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		3		
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		・すべてのマニュアルが完全ではないが話し合いや訓練は行っている。	・定期的に訓練を行っていたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	1		・具体的な訓練を行っていく
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		3		・対象者なし
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	1		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		・ヒヤリハットが出た際には全員が周知するまで掲示、月のカンファレンスにて再度共有している。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	1	2			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3				